

エリアとくらし

第34号 2020年3月

発行：社会福祉法人

時津町手をつなぐ育成会

西彼杵郡時津町西時津郷 1156

TEL：095-882-7585

今年も大爆笑！？ 2/16(日)時津カナリーホール

交流芸能祭



今年の交流芸能祭は、今までと違い、利用者会議を開いて、何をやりたいか、決めてもらいました。

そして、同じ事をやりたい人同士のグループで、おおよその演出(台本)を考えていただきました。演技プランが広がり、悪戦苦闘の日々。そして『新年親子の集い』で初めてのお披露目。「斬新！」という感想が多かったようです。多分、黄門様が先にヤラレタ事が原因でしょう・・・。

「・・・おかしい」「・・・やばい、かも」職員間にはびこる不安。職員の芸能魂に火が付きまして。担当・副担当の域をあっという間に飛び越え、職員総がかり、特に女性職員の圧倒的力により、アイデア・音源(セリフ)・衣装・小道具・細部の演出が面白い様に出来上がっていきまして。

利用者のみなさんも、更なるアイテム・アイデアを捻り出して迎えた交流芸能祭当日。少し、出来上がり過ぎた感もありましたが、みんな楽しく、満足して、無事に終わる事ができた様でしたので、とても良かったです。



ただ、終了後に次年度の交流芸能祭の話がみんなから出ていたのは、少し気になりますが・・・(^ω^)
また、次年度ですね～♪ご来場のみなさまにも楽しんでいただけていたら幸いです。(岸部武)



育成会 新年親子のつどい

1月19日（日）野田ふれあい館



楽しかったね!!



新登場☆八百屋さん☆に大盛り上がり

今年もみんなで揃ってお弁当を囲み、年男・年女の会員さんからの抱負、ビンゴゲーム、という恒例のプログラムに加え、新レクリエーション「八百屋さん」では、本物と見間違える程の親父さんと、独特すぎる風貌のおかみさんに参加者一同大ウケ(笑)また、エリア利用者さんによる交流芸能祭の演目には、そのシュールなエンディングに度肝を抜かれるという、目が離せないひと時でした。また、今年のスペシャルじゃんけんゲストは長与町より「はっさくじいさん」が！楽しい年明けとなりました。

☆参加された亀野さんからご感想をいただきました☆

今年も参加させていただきました。ほんと、いつも楽しい楽しいばかりです。

わが家の末っ子も来たいと言っていたのですが、残念な事に私用で来られませんでした。その分、家族みんなで楽しいひと時を過ごさせていただきました。

お父さんは八百屋さんに参加させていただきました。お父さんが、俯いた瞬間に八百屋の親父さん(岸部さん)に肩を叩かれ、指名を受けてしまいました。本人はビックリです(;^_^A

お姉ちゃんと春希はジャンケンに強く、去年はお姉ちゃんが、今年は春希がジャンケンで景品を獲得していました。私はジャンケンに弱いのですが…。春希はコーヒーを貰って嬉しそうにしています。手伝いも出来ず、心苦しいですが、いつもとても楽しく参加させていただいています。ありがとうございます(亀野母)

また、残念ながらこの日欠席だった
新成人の西川さんから、成人のご報告を
いただきました。

新成人・西川英里さん
おめでとうございます

～20歳の抱負～
酒をのみます。
なわとび 1000かいとびたいです。
けしょうしたいです。
オレンジジュースのみたいです。
家でねる仕事です。
ソファでねたです。
目がさめました。キャー
たのしかったです。



お母様より
成人式、おめでとう!!
笑顔がすてきな女性に
なってください
これからも仕事頑張って
下さいね



育成会から
お祝いを
差し上げました

山脇清掃様から

クリスマスプレゼント



今年も色とりどりのケーキを山脇清掃の山脇様よりいただきました！ケーキをいただいたみなさんからひとこと！

石橋さん「美味しかった。また買いたいです」

岩田さん「美味しくいただきました。ありがとうございます」

大西さん「いつも、ありがとうございます」

長田さん「とても美味しかった」吉川さん「綺麗で美味しかった」

山下さん「美味しかった。家族3人にも食べさせたいと思った」

金谷さん「毎年、毎年、山脇清掃の山脇様、ケーキありがとうございます。いつも美味しく頂いています」
…今年も種類豊富で、凄かったです！！みんなの笑顔も凄かったです！！

山脇清掃様、毎年、ありがとうございます。（岸部武）



クリスマス会

12月14日(土) エリア21



令和初めてのクリスマス会が開催されました。

11月末頃から、あちらこちらで集まって開かれるプチ会議。もちろんクリスマス会の出し物の相談です。自分たちが楽しみ、周りを楽しませるクリスマス会でした。



歌あり、劇あり、ゲームありと盛りだくさんの内容でした。

出し物の一つであるハンカチ落としでは輪の中に入れていただき、数十年ぶりに童心に帰って楽しみました。（坂口）



「障害のある人もない人も、安心して暮らせる社会を」とよく言われますが、実際に「理解する」とはどうしたら良いのでしょうか。「配慮」「差別解消」という難しい言葉よりも、体験することで少しでも「なるほど」と思えることを目指して、今年度の勉強会は「啓発研修」として、知的障害体験を企画しました。

開催目的から、今回の研修は育成会だけでなく、時津町福祉課、時津町障害者等地域自立支援協議会就労部会、時津町社会福祉協議会、西そのぎ商工会の協力も得て、民生委員さんや学校の先生、一般

町民の方まで幅広く参加を募り、約100名の参加がありました。

講師には長崎市手をつなぐ育成会のキャラバン隊「よかよか隊」のみなさんをお迎えし、ただお話を聴くだけではない、体験型の講習です。

用意されたものは「使命の紙」「切られたペットボトル」「2枚重ねの軍手」など。宇宙人？みたいな言葉の通じない人も出てくるし、笑いと「何が起こるんだろう？」という期待感であつという間の2時間でした。

「言葉なしで意思疎通に挑戦」「集中している時の視界」「手先がうまく使えない感覚」…体験を通じて、

同じ行動でも障害のある方と私たちでは大きな感覚の違いがあることが、体に直接伝わりました。

さらに、知的障害のある小学生男子の日常を描いた「Aくんのいちにち」で、Aくんの独特のものの見え方、ちょっと不思議に見える行動の理由や周囲の関わり方の大切さが伝えられました。

よかよか隊の講演終了後は班ごとに感想や意見をフリートーク。最後に各班でどんな話が出たか発表、意見交換をして研修を終了しました。



エリア21・支援員さんの感想

障害のある方に係る研修会に初めて参加しました。

利用者さんとの関わり方や支援の仕方を見直すいい機会になりました。

『伝えたいのに伝わらない、分きたいのに分からない』を体験することによって、改めて障害のある方々の大変さを実感しました。日々、利用者さんと一緒に仕事をしていく中で、具体的に写真やイラストなどを使ってみんながスムーズに作業が進むように、より工夫をして

いきたいと思いました。また、分かりやすい言葉で話す大切さが分かり勉強になりました。

他の参加者の方で、よかよか隊の皆さんに色々な所で体験会をして欲しいとの声がありました。よかよか隊の趣旨でもある、ひとりでも多くの人に障害の特性を理解し知ってもらうことが必要だと感じました。（入口）

さらに、ご参加くださった皆様のアンケートから、感想やご意見をご紹介します。

- 保護者として参加させていただき、いろんな面(言葉かけ)で反省することがありました。今後、一つ一つマスターしていき、子どものためにがんばりたいと思います。
- グループに分かれていてすごく緊張しましたが、話しかけると皆さんいい人で楽しく参加できました。分かっていたようで分かっていなかったことが沢山ありました。声のかけ方には気をつけていこうと思いました。ひどい言い方していたんだと反省です。疑似体験することで、ほんの少しは気持ちが分かったんじゃないかと思いました。キャラバン隊の皆さんありがとうございました。グナ女王ステキでした！かしこまった講習会じゃなくて本当に楽しかったです。
- 体験型の講習会ということで、とても分かりやすく、気づかされることが多々ありました。知的障害のお子様を持つお母さま方が活動されることで、より説得力があり、自分がおかれている立場で出来る事は何か、考えさせられました。まだまだ分からないことがたくさんあります。よかよか隊の皆さんからもっと学びたいです。参加できて本当によかったです。ありがとうございました。

見て見て☆ 僕の私の作品たち

つくってみました。Vol.2

今回のエリア21利用者さんの作品は、レストラン入口のメニュー看板(ブラックボード)をご紹介します！

エリア21内の『レストランさきの』では、月替わりメニューを用意していて、今までは毎月職員が作成していましたが、2月から利用者の市川祥子さんが作ってくれるようになりました。

季節を感じさせる可愛いイラストも添えて、雰囲気作りもバッチリ(*^^)v

エリア21へお越しの際は、このボードにもぜひご注目下さいね♪



節 分 豆 ま き

2月3日(月) エリア21

作業室にて毎年恒例の節分豆まきを行いました。

みなさん豆まきを行う事を伝え、始まる前からなぜかやる気満々！闘志に満ち溢れていました。

鬼に扮した私と岸部支援員に、ここぞとばかりに？豆を撒き、しっかりと鬼を退治し福を招き入れることができたと思います。

みんなでワイワイと盛り上がった後はおいしくお豆を頂きました。(坪田)



全国アビリンピック(障害者技能大会) ～喫茶サービス部門に長崎県代表で出場・市川祥子さん～ 11月15日(金)～17日(日) 愛知県国際展示場

昨年7月6日に諫早市で開催された長崎県大会にて金賞を獲得された市川さんが、この度全国大会出場を果たされました。県代表に決まってから全国大会出場までの様子をお伝えします。

10月28日、職業能力開発協会(長与)にて全国大会壮行会が、厳かな雰囲気の中執り行われ、【Nagasaki】と書かれたお揃いの上着を着て参加し、祥子さんの気持ちも引き締まったようでした。(写真①)

11月11日、時津町役場を訪問し、吉田町長へ、市川さんの言葉で出発の挨拶・決意表明を行い、11月14日(大会前日)朝、お母様と一緒に、飛行機で中部国際空港(セントレア)へ向かわれました。天候にも恵まれ気持ちの良い青空だったそうです。その日は自由時間が長く、名古屋を満喫されたようで、「きしめんと、味噌カツが美味しかった」そうです(^_^)



15日(大会初日)午前は、開会式競技会場下見(オリエンテーション)、午後が、開会式でした。開会式のアトラクションにまさかのSKE48の登場で、緊張していた祥子さんにも笑顔が見られたとのことでした。

16日(大会2日目)9時から技能競技開始。(写真②)

選手席に着き、緊張していたようですが、身だしなみはバッチリでした。1回目は緊張して、初め動けなかったようですが、時間と共に慣れて、動けるようになったとのことでした。終わった後、『物足りない!』と言われたそうです(祥子さんらしいですね。)

2回目、緊張は大分ほぐれていたようですが、クッキーや、コースターを取りに戻る事があったものの、声は出ていたとのこと。

3回目はレストランさきので接客しているように、普段通りに出来たようです。(素晴らしいです!) 本番がおわった夜は、空港にあるお風呂屋さんに行ったとか★

17日(大会最終日)成績発表及び閉会式でした。残念ながら入賞者発表時に呼ばれず、悔し涙を流された祥子さん。閉会式終了後に個別の講評があり、良い点・改善点などアドバイスを受け、その後は、飛行機の時間まで楽しい時間を過ごされたそうです。

今回、エリア21から初めてアビリンピック全国大会へ出場されました。とても素晴らしい事だと思います。惜しくも入賞とはなりませんでした。この素晴らしい経験を今後の作業に活かして欲しいと思います。同行して頂いたお母様もお疲れ様でした。ありがとうございました。(西川)

祥子さんの感想

初めての全国大会でしたが、結果は金賞に届かず悔しい思いで、正直残念です。でも、表彰台に上がった皆さんの熟練した接客は上手だったので、他に打つ手がないです。自分のことを思い出すと、もっと丁寧さを心掛けられたらと思うし、慌てず落ち着いて集中出来ればもっと頑張れたかもしれません。

この大会で学んだことを日々の訓練に活かして、全国大会に再び出場できたら今以上に満足のいく結果を出せるように努力したいです。



4月予定のバーベキュー大会は新型コロナウイルスの感染拡大防止策のため中止といたします